

2017年度（平成29年度）の主な活動計画及び収支予算書

■ 2017年度、主な活動計画（案）

「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」は、明治の森箕面自然休養林（箕面国有林）を対象として、自主的な活動により、同自然休養林の整備・管理、及び活用を円滑に行うことを目的として、以下の活動に取り組みます。

1、明治の森箕面自然休養林の環境整備・保全

（特に、自然景観と生物多様性の保全に配慮した森林環境の整備）

- (1) 清水谷を中心に、園地や自然研究路などにおいて、シカによる食害防止のための「樹木保護ネット」を設置します。
あわせて、清水谷内外でのシカ害対策ネットの追加的処置について検討します。
- (2) 看板、道標など簡易な施設整備、及び既存施設の維持管理・修繕を行います。
エキスポの森などでのベンチ整備を実施します。あわせて、自然研究路の利活用の改善のための施設整備を検討します。
- (3) 自然景観の眺望確保のための枝落としや間伐などの林内整備を行います。
* 森林管理事務所による林内整備と「箕面自然調査会」の協力
- (4) 「箕面の山パトロール隊」主催による山地美化を目的とした「箕面の山大掃除大作戦」及び箕面市条例による箕面山「市民美化推進地区」の活動に協力します。
- (5) 「ナラ枯れ」被害防止を目的とした調査活動や対策実施のための行政・市民団体との協働による活動に協力します。
* NPO法人みのお山麓委員会「ナラ枯れ」対策グループとの協働

2、明治の森箕面自然休養林の活用（ソフト対策の実施に関わるもの）

- (1) 自然休養林散策のためのコースマップの作成など、活用のためのソフト対策の実施を検討します。
- (2) 構成団体による自然観察会やクリーンハイキングなど、各種イベントを継続的に実施し、自然休養林の持続的な活用強化を図ります。
- (3) 箕面ビジターセンターが行う自然観察ツアーやイベントなどの自然解説業務に協力します。
- (4) 勝尾寺園地などをフィールドとした「森林セラピー」活動に協力します。
- (5) 市民・府民のニーズにあわせて、豊かで美しい森林に対する尊敬の心をもって同休養林の新規活用に取り組みます。

3、明治の森箕面自然休養林のPR、普及啓発

- (1) 自然休養林内での活動のPR及び活用の普及啓発を目的として、ホームページ「山なみネット」などによる情報発信と協議会活動の情報公開に努めます。
- (2) 箕面市周辺で行われる各種イベントに協力し、自然休養林のPRや活用のための普及啓発を積極的に行います。 ※ 国定公園50周年記念イベントなど
- (3) 子どもたちを対象とした箕面の豊かな自然に関する普及啓発活動を行います。
※ 豊川北小学校などの校外学習など

4、明治の森箕面自然休養林の利用者の安全対策

- (1) 利用者の安心・安全、及び美化推進を目的とした「箕面の森の案内板」及び道標などの補修・維持管理活動を継続的に行います。
- (3) 自然休養林内の安心・安全に関する情報の共有化を図り、関係の行政機関と連携し、利用者への広報に協力します。 ※ ホームページなどによる情報発信
- (4) 自然休養林の利用に関するルールやマナーの改善について検討します。

5、明治の森箕面自然休養林のサポーターの募集・選定、及び活用

- (1) 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の活動推進を前提として、サポーターの意向を踏まえつつ、サポーターから提供された資金による事業を行います。
- (2) あわせて、新規サポーターの募集・選定などを行います。

6、生物多様性の保全に向けた植生調査、希少種の保護・増殖など

- (1) 清水谷シカ害対策ネット設置後の継続的な植生調査と実験結果の検証を行います。
- (2) ネット内外の植生調査、森林衰退状況の調査、自動撮影カメラによる調査などシカの個体数管理実施にあわせて、市民ができるモニタリング調査を行います。
- (3) 生物多様性戦略の検討会やシカによる食害対策の検討会を定期的に実施します。あわせて「箕面の植物」の報告会や「シカによる食害」対策の報告会などにより生物多様性保全のための啓発やPR・広報などを行います。

※12月10日（日） 国定公園指定50周年記念生物多様性フォーラム

- (4) 「箕面自然調査会」による草本・木本などを対象とした調査の継続、及び幼木や埋蔵種子などの確保に取り組みます。
- (5) 希少種や生態系の保全に向けての取り組みを行います。保全の必要がある樹林・群落、生息地のリストアップと保全策を検討します。清水谷ネット内の希少種の保護を目的として、箕面ビジターセンターやエキスポの森/花の谷内での保護の仕組みを検討します。箕面市の花であるササユリの調査と保護に取り組みます。
- (6) 管理者などへの適切な情報提供を検討し、生物多様性の保全を目的とした啓発を行います。

7、その他、目的の達成に必要な事業

- (1) 箕面森林ふれあい推進センターの事業との連携
「箕面体験学習の森」整備事業、及び「オオクワガタの棲める森づくり」事業との連携を強化します。
*アサヒビール(株)との協働イベントを実施（10月21日（土）*雨天中止）
- (2) 市民団体・行政関係委員の積極的な情報交換、意見交換の場として、例会を定期的に開催し、活動の円滑な推進のための「情報の共有化」に注力します。
- (3) 府営箕面公園（大阪府池田土木）、及びこもれびの森（箕面市公園緑地室）などの活動と情報の共有化を図り、対話と協働的な関係を構築します。
- (4) 自由な意見交換の場として情報公開を努め（一部希少種の情報公開を除く）協働的な活動の担い手としての構成団体の拡充に努めます。

■ 2017年度、収支予算（案）

（収入の部）

単位：円

科 目	予算額	備 考
サポーター資金収入	300,000	アサヒビール(株)
前期繰越金	379,388	
計	679,388	

（支出の部）

単位：円

科 目	予算額	備 考
事業費	350,000	1. 環境整備・保全の活動 190,000 2. 安全対策の活動 20,000 3. 生物多様性保全の活動 90,000 4. その他、予備費 50,000
管理費	90,000	その他管理費 20,000 NPO山麓委員会事務費 70,000
計	440,000	
次期繰越金	239,388	